



TECHNICAL GUIDE

昭和52年5月

ラジオ

PROCEED₂₈₀₀

5IC 3FET 28TR FM-MW-SW
デジタル周波数カウンター付
5バンドレシーバー

RF-2800
FET IC

RF-2800



技術サービス費 標準価格 **49,800円**
1,500円 キャビカラー ブラック

RD-9150 (逆L型アンテナ) 標準価格 3,000円
RD-9160 (垂直アンテナ) 標準価格 4,980円
RD-9810 (アンテナカップラー) 標準価格 6,800円
RD-9580 (TVコンバータ) 標準価格 6,500円

■特長

- 短波1kHz直読の新開発I²Lを駆使したデジタル周波数カウンター
- ※I²L…Integrated Injection Logicの略で従来のIC (TTL) 約31個分 (トランジスタなら2,000個以上) にも匹敵する高密度論理回路
- ワンタッチプッシュプル方式の2スピードダブルギアチューニング
- ※FAST (早送り) ……減速比 9.5:1
SLOW (遅送り) ……減速比 114:1
FAST : SLOW = 12:1
- ダブルスーパー方式採用の高感度・高選択度設計
- ・中間周波数を1st IF 2MHz, 2nd IF 455kHzに設定
- ・FM-AMのチューナ回路は検波段まですべて独立
- ・SW/MW用新開発FET (28K104) を採用
- 短波3.2~30MHzカバーとBFOピッチコントロールで受信範囲が拡大
- ・RF (MW/SW) ゲインコントロール、BFOピッチコントロールの採用でSSB、CWも容易に受信可能
- REC OUT・MPX OUT・EP端子付

[電池持続時間]

130時間 (EIAJ規格による標準時間) ただしナショナルネオハイトップ乾電池 (SUM-1型) 使用時
※周波数カウンター動作時は40時間になります。

■定格

受信周波数帯	FM 76~90MHz MW 525~1605kHz (571~187m) SW ₁ 3.2~8MHz (93.8~37.5m) SW ₂ 8~16MHz (37.5~18.8m) SW ₃ 16~30MHz (18.8~10m)
中間周波数	FM 10.7MHz MW & SW 2nd 455kHz SW 1st 2MHz
受信感度	FM 0.5μV (S/N 6dB) / 50mW MW 14 μV/m / 50mW SW ₁ 0.5 μV / 50mW SW ₂ 0.5 μV / 50mW SW ₃ 0.5 μV / 50mW
実用最大出力	2W (EIAJ/DC)
消費電力	7W (交流の場合)
スピーカ	10cm PM ダイナミックスピーカ (インピーダンス3.2Ω)
端子	イヤホン端子 3.2~8Ω MPX OUT端子 10kΩ REC OUT端子 6kΩ 外部電源端子 AC IN 100V 外部アンテナ端子
電源	ナショナルネオハイトップSUM-1 (N) 6個、9V又はAC100V (90~110V) 50~60Hz
キャビネット寸法	381 (幅) × 246 (高さ) × 120 (奥行) mm 〔外形寸法 (ガードアームを含む)〕 381 (幅) × 258 (高さ) × 143 (奥行) mm
重量	3.9kg (電池共)
付属品	イヤホン (XEH1A1), ベルト (RQC9013Z) ACコード (RJA47Z), ダイアルフード (RKE234Z), 電池 [SUM-1 (N)]

※本機の定格は性能向上、その他により変更することがあります。

修理時の安全性確保は、必ず実施して下さい。